

# 少林寺拳法と和太鼓のコラボも

## 本社後援 30回記念の京都北部大会で

少年拳士から技を学ぶ保護者ら  
(福知山市で) 少林寺拳法綾部  
スポーツ少年団提供



同大会には、南丹市以北の11支部の子どもから大人までの拳士約160人が参加。午前中に行われた大会では、護身術である「突き」「蹴り」「投げ技」をう入一組で技を競い合った。

午後からは30回記念大会の式典に続き、市太鼓連合会による演奏に合わせ、拳士たちが演武を披露。また、「天地拳第一系」

という単演を少年拳士たちが保護者に指導するアトラクションもあり、親子のコミュニケーションを図った。大会は10部門に分かれて競技が行われ、綾部関係では少年緑帯の部で塩見乃衣さんと古川拓斗君のペアが優秀賞、丸岡秀人君と山岡凛太郎君のペアが優良賞を受賞した。

同大会の運営経費の一部は東日本大震災の被災地への義援金として日本赤十字社に寄託される。

少林寺拳法綾部スポーツ少年団は毎週月・木曜の午後7時～同10時、西町3丁目の市武道館で練習している。問い合わせは福井喜義さん(☎090・5883・1374)へ。

少林寺拳法京都北部大会・スポーツ少年団交流大会(府少林寺拳法連盟京都北部プロック主催、少林寺拳法綾部スポーツ少年団主管、あやべ市民新聞社など後援)が3日、福知山市の三段池公園総合

体育館サブアリーナで開かれた。今年で30回目となる